

1 事業内容

団体名	チームくしろ防災女子
事業名	防災教育プログラム作成事業
課題テーマ	安心して暮らせる都市
事業提案の背景	千島海溝沖を震源とする巨大地震が懸念され、各学校でも防災教育に力を入れているが、専門的な内容になると全ての学校で教員が対応するには限界があり、高度な内容を希望する学校には防災士の団体に対応するような状況も見られる
事業目的	「防災教育プログラム」の利用により専門知識がない教員の負担を軽減し、全校においても均一な防災教育を実施する環境を整備する事を目的としている
事業内容	防災についての基本的な知識を画像を用いたパワーポイント及び「ロイロノート(タブレット)」を用いた防災プログラムを作成した。釧路市防災士ネットワークから出前授業の課題を聞き取り取り入れたほか、防災を専門とする北海道教育大学釧路校 酒井多加志教授、北海道赤十字看護大学教授根本昌宏教授に協力を依頼し成果品を完成させた。教員へのレクチャーについては、担当者が交代しても利用に支障が出ないよう「使い方ガイド」を記載した冊子を作成する事に変更した。
成果目標の達成状況	防災教育プログラムは完成したが、教育現場において本プログラムが活用されるのは次年度の見込みとなる。完成品の配布・活用を引き続き釧路市教育委員会にご協力頂き進める事により、目標を達成して行けるものとする
波及効果の達成状況	釧路市内の小中学校はじめ、他地域の学校及び町内会等幅広く活用されることにより地域防災力の向上に貢献できると期待するが、利用開始が次年度以降となるため、作成に関わった団体等の意識変化はみられたものの波及効果については限定的である
実施体制	チームくしろ防災女子 釧路市防災士ネットワーク 日本赤十字北海道看護大学 根本昌宏教授 釧路教育大学 酒井多加志教授
連携した市担当課	無 ・ 有 (総務部防災危機管理課 教育委員会学校教育部教育支援課)
連携した市担当課が果たした役割 (※有の場合)	・ 事業についての助言 ・ 事業周知についての協力 ・ 小中学校との連携についての協力

2 支出決算書と支出内訳

(収入)

費目	決算額 (円)	内訳
輝くまちづくり交付金	300,000	
自己資金	50,925	会費等
合 計	350,925	

(支出)

費目	決算額 (円)	内訳
対象経費		
委託費	257,000	①イラスト作成代、②音源作成代
使用料・賃借料	7,190	③会議室使用料
印刷製本費	77,915	④冊子印刷、⑤DVD作成
役務費	1,320	⑥送金手数料
小 計	343,425	
対象外経費		
謝礼	7,500	⑦助言謝礼 (菓子折2名分)
小 計	7,500	
合 計	350,925	